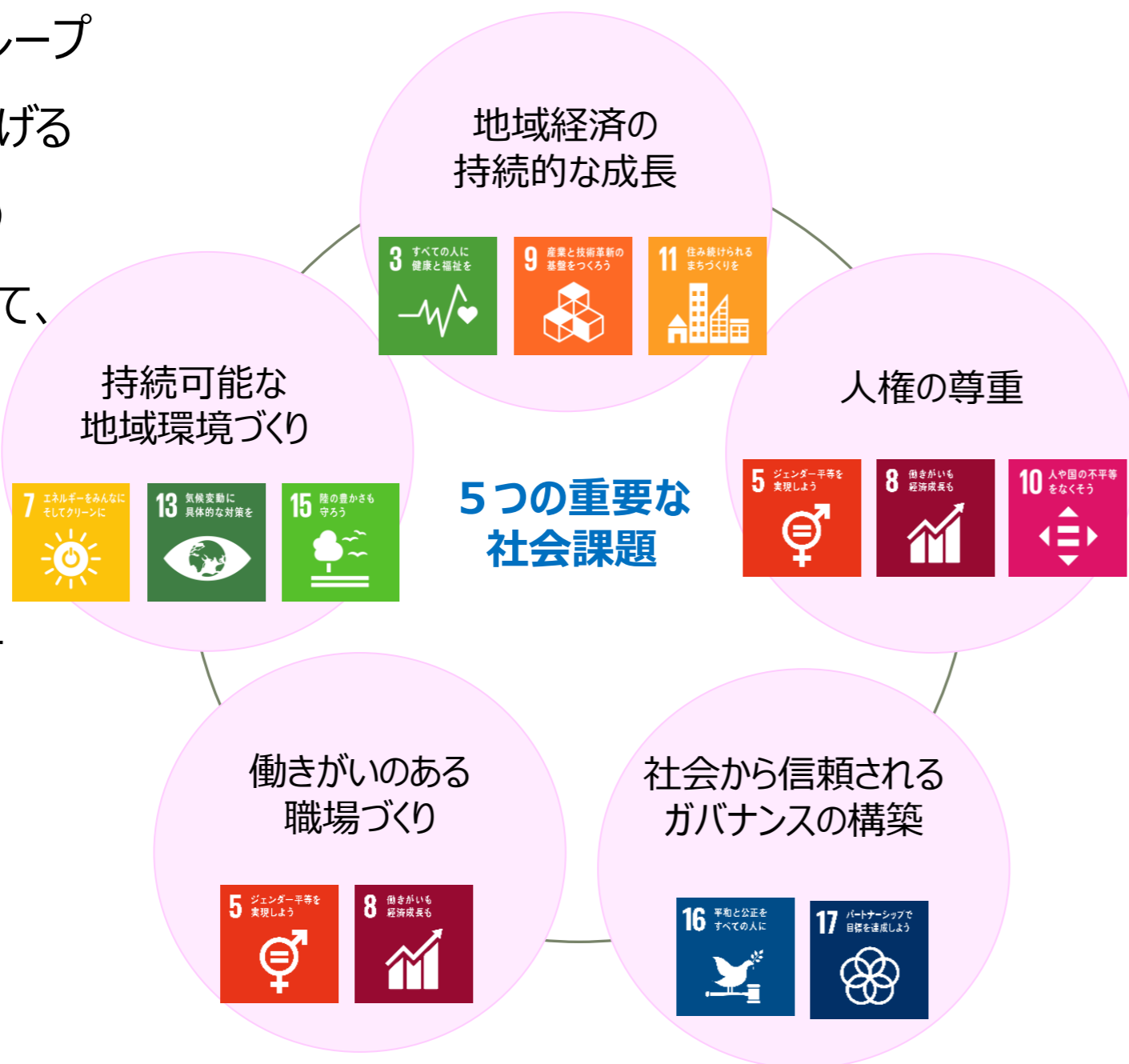


荘銀かねやま絆の森

株式会社荘内銀行

フィデアグループサステナビリティ方針

荘内銀行は、「フィデアグループサステナビリティ方針」に掲げる5つの重要な社会課題の解決に取り組むことを通して、地域社会・地域経済の持続的な発展に貢献するとともに、当グループの企業価値向上を目指してまいります。



第4期協定期間 3か年計画

所在地 金山町大字金山地内 面積：49.65ha
 協定期間 第4期 2023年4月1日～2025年3月31日
 協定者 荘内銀行、(有)三英クラフト、山形県、金山町
 活動内容 荘内銀行は、二酸化炭素の吸収源確保や生物多様性の保全、環境教育の実践と参加者相互のコミュニケーション活性化を目的に、金山町で森づくり活動を展開。協定者が連携し、これまで植林、下刈り、裾枝打ち・つる切りなどの保育活動のほか、自然観察体験、木工クラフト体験、再生エネルギー勉強会など、森に関わる様々な体験活動を行い、森林の保全や活用に関する重要性について理解を深めてきました。第4期協定期間では、「持続可能な地域社会の実現に向けた学びと実践」をテーマに、育林活動などの現地活動に加え、ワークショップやセミナーといった啓発機会も企画して取り組んでまいりました。

年次	活動計画概要	内容
2023年度	・枝打ち体験 ・サステナビリティ・ワークショップ	・荘銀かねやま絆の森での枝打ち体験 ・カーボンニュートラル ワークショップ
2024年度	・大美輪の大杉整備活動 ・下刈り体験など	・金山町で絆の森活動を行う富士フィルムBI(株)山形様と共催で森づくり活動
2025年度	・枝打ち・つる切り体験 ・サステナビリティ・セミナー	・荘銀かねやま絆の森での育林作業 ・企業が森づくりにかかわる意義について森林が抱える課題を踏まえ学習

2025年度森づくり活動：①育林活動

実施日：2025年10月18日(土)
 参加者：総勢28名(うち当行関係者19名)
 2025年度森づくり活動は、「荘銀かねやま絆の森」協定地での育林活動を実施。

育林活動：下刈り、枝打ち
 初期植林地(16年生林)において下刈りと枝打ち、つる切りを行いました。

- 【参加者のコメント】
- ・先輩たちが植林した当手を思い浮かべつつ、入行間もない自分たちが、16年後の林で活動できたことが、感慨深かった。
 - ・作業前は下草も多く、鬱蒼とした雰囲気のある林が、自分たちの作業によってすっきりとして、杉の裾に光や風が通る様を感じることができ、とても充実した活動だった。



2025年度森づくり活動：②絆の森講座

荘銀かねやま絆の森講座

- 講座1◆ 講演
 市民・企業が森づくり活動に取り組む意義
 講師：佐藤 恒治 氏 (国土防災技術(株) 参事)
- ① 森と人のかかわり
 - ② 日本の森林の現状と課題
 - ③ 森林のはたらき
 - ④ 市民・企業が森づくり活動に取り組む意義

講座2◆ 説明
 フィデアグループの環境方針について (事務局より)

